

寺報

No.590

平成28年10月

蓮華寺
發行

御聖訓

日蓮世間の体を見て粗一切経を
 勘ふるに、御祈請驗しなく還つて
 凶悪を増長するの由、道理文証
 これを得了んぬ。終に止むことな
 く勘文一通を造り作して、其の名
 を立正安国論と号す。



『安国論御勘由来』

(解 説)

鎌倉時代には、大地震・洪水・大飢饉・大疫病な
 どの厄災がひんばんに起り、国民の大半が苦しめら
 れていました。

これに困った幕府は、遂に法華経を唱えない諸宗に
 祈祷を依頼し、その鎮圧に努めようとなりましたが、
 少しも収まらず還つて災難を増すばかりでした。

この有様を現実に見ました日蓮大聖人は、今一度お
 釈迦様が説かれた一切経を読破し、その災難の原因
 が諸経にあると悟り、その証文を見出ししました。
 そして、法華経による救済の道を説き現わし、『立
 正安国論』と題する意見書を作り、幕府に提出した
 のです。

立正安国とは、国民が正法である法華経に帰依する
 事により、安穩なる仏国土の世界がこの世に建立さ
 れるという意味です。

日蓮大聖人は、この立正安国の世界の実現の為に、
 一生涯を掛けたのでした。

しかし最近の我が国をみますと、人々の信仰心が薄
 れ、それと共に天変地異も多くなるという、非常に
 心配な事態を迎えつつあるのです。

御会式

十月二十三日(日)

午後一時より

※法要終了後、ご法話あり



今回は若手で優秀な先生が担当でお話を致します。

*本年は、第七百三十五回目のご法事に当ります。

檀信徒の皆様は、必ずご参拝、ご焼香し、日蓮大聖人様へ御報恩の誠を尽しましょう。

*お経は、『如来神力品第二十一』の中頃「爾の時に佛、上行等の菩薩大衆に告げたまわく」から読みますので、皆様もご一緒にお唱えしましょう。

*先祖・仏様のご供養(諷誦文)と日蓮大聖人御報恩謝徳【各千円・お札付】をお受け致します。

*法要終了後の『ご法話』も必ずご聴聞下さい。

『御会式』に参拝しよう!

日蓮大聖人は「たとえ法華経の一字一句でもいいから自ら唱え、その教えを戴き、更に他の人にもその有り難さを伝えるならば、その人はお釈迦様のお使いといえよう」と申されました。

つまり、信仰で一番大切な事は、我々の行いであるという事です。

法華経・お題目を心の支えとして、一生懸命生き抜く事がいわゆる身で読むお経であり、仏様が何よりも喜ばれる事なのです。

布教の為に、数知れないご法難を受けられた大聖人こそが、我々のお手本となられた事はいうまでもありません。

『御会式』はその日蓮大聖人のご命日法要、御法事であります。

どうか皆様も、もう一度【御報恩】というものを考えてみてはいかががでしょうか。

もし日蓮大聖人がおいででなかったら、当然お題目を

竜ノ口御法難会

十月十三日(木)

午後一時より

於…大本堂



*参拝者には全員、オハギをご供養致します。

同じアンコロモチですが、秋はオハギ(お萩)・春はボタモチ(牡丹餅)といわれています。

②『竜ノ口御法難会』は「十三日講」のお勤めの中で執り行います。

◎日蓮大聖人

聖語カレンダー

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日(日蓮宗で重要な日)も出ております。

一部・・・五〇〇円

◎平成二十九年 度「暦」

一部・・・一五〇円

★いづれも十月一日から販売します。

日蓮宗大荒行堂入行の挨拶



加藤 曉宏

この度、蓮華寺御住職・角田堯淳上人、私の師父上人のお許しを経て、本年十一月一日より、来年の二月十日までの百日間、日蓮宗大荒行堂への入行をさせて頂く事になりました。

私は今まで、大荒行堂の入行経験は無く、今回が初行一番初めの修行となります。

そのため、蓮華寺の先輩諸上人を初め、青森県内各所の上人方から様々なアドバイスを頂きました。

入行前までに行うべき準備、入行してからの一日の流れ、

午前二時に起床し、三時の一番の水から午後十一時までの一日七回の水行、眠らずに読経を行い、書写行（お経を書き写す）を行う事、食事は日に二度、朝夕の白がゆしかない事など。

肉体面、精神面でも非常に厳しく、中には途中で辞めてしまう人が居るほどだから、半端な気持ちで入らな

いほうが良いと様々な事を教えて頂きました。荒行は、自らの懺悔滅罪をするための修行でございます。

自らの罪を懺悔し読誦・唱題・水行を行う事で、現世安穩・後生善処の経文である法華経の経力を蓄え、その力を以て祈禱修法をし、ご祈禱を受ける方への力になれる様にするための修行です。

正直なところ、先輩方からの話を聞いて、自分が百日間の修行に耐えられるか、途中で逃げ出さないかどうか不安になったのも事実です。

特に入行からの三十五日間、この期間が一番過酷で、先輩上人も音を上げそうになったと教えて下さいました。

ですが、入行するからには、途中で投げ出す事は絶対に許されません。

それは、蓮華寺住職上人、師父上人、先輩上人、蓮華寺・要心寺檀信徒の方々の期待を裏切ってしまうからです。

少なくとも、自分で入行を決めた以上、祈禱修法を身につけ、送り出して下さった方々に、報いる事は最低限必要な事だと考えます。

場合によつては、行中挫折しそうになるかもしれませんが。

その時は、皆様の事を思い出し耐え忍んで行きたいと思えます。

何が何でも百日間の大荒行を成満して無事にきます。どうか宜しくお願い致します。

「加藤曉宏上人」

大荒行歓送会のお知らせ

今年、日蓮宗大荒行堂・初行に入行します、当山信徒の「加藤曉宏」上人の歓送会を教宣部主催で行います。

どうか、皆様も加藤上人の百日間の無事と激励の為に出席下さいます様にお願いします。

部員以外の方でも、参加が出来ますので、どうぞどしどしお申込み下さい。

日時・十月十五日(土)

午後六時より

会場・『ラ・プラス青い森』(市役所裏)

会費・五千円【十日×切】

檀信徒研修会のお知らせ

十月二十九日(土)

『聖典の読誦と唱題行』

担当・・・住職上人

*聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)

*お題目は七百回以上唱えられます。

時間・・・午後七時より

場所・・・小本堂【イスや安座にて結構です】

持参品・・・聖典(事務所にて)・数珠・団扇太鼓

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を心から唱えましょう。

☆ 靈 断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『靈断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【ご相談料は一件につき三、〇〇〇円です】

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈禱を行っていますが、青森は十一月ですと雪の心配がありますので、早い月から受付しています。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成二十二年生れの女兒

◎五歳・平成二十四年生れの男児

◎三歳・平成二十六年生れの女兒

となりますが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願いまして、日蓮宗のご祈禱をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「千支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。



『位牌壇』の募集!

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り護られていきます。

★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合も、お寺にご連絡下さい。

★分割は三年間の内に、回数(最長三十六回)はご相談下さい。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、任職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

十月の行事

一日(土) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お経とお題目を唱えましょう。
- ・ 檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。

九日(日) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

十三日(木) 日蓮大聖人様の御回向 午後一時より

- ・ お経 (如来神力品第二十一(訓読・日本語読み))
- ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 皆様も日蓮大聖人様の御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(木) 『竜ノ口御法難会』 午後一時より

十五日(土) 『妙見小祭』 朝のお勤め中

二十三日(日) 『御会式』 午後一時より

二十八日(金) 『妙見小祭』 朝のお勤め中

二十九日(土) 檀信徒研修会 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

十七日(月) 『御会式』花作り・・・午前九時より

・ 一般檀信徒の皆様・教宣部男女部と檀信徒の皆様が奉仕で作られています。どなたでも参加出来ますので、日蓮大聖人様への御報恩の為、よろしくご協力をお願い致します。

二十一日(金) 『御会式』の準備

・ 教宣部男女・・・午前九時より

・ 祭壇等の準備

二十三日(日) 『御会式』のお手伝い

・ 教宣部男女・・・午前十時より

・ 教宣部男女・・・午前十時より

・ 『御会式』の後片付け

* 大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の後片付け

注 『御会式』は大行事ですので、準備、後片付け等が大変です。 沢山の方々のご奉仕をよろしくお願い致します。 教宣部員以外の檀信徒の方も歓迎致します。 ◎奉仕部長・山田兼補 ◎伝道部長・小野正春 ◎教宣部長・杉淵昌三

お 御 会 式

*法 要

十月二十三日(日)

午後一時より

※法要終了後・御法話

新講師：日蓮宗靈断師会総合研究所主任
福岡県糟屋郡・妙覚寺副住職

野出 修輝 上人



※檀信徒の皆様は、『御会式』法要には必ず参拝し、
日蓮大聖人様へご報恩のご焼香致しましょう。

※日蓮大聖人様の御報恩謝徳と先祖・仏様のご供養
【諷誦文】(お札付・千円)、お供物等をお受け致します。